審 議 結 果

会 議 名	川口市男女共同参画推進委員会第2回委員会
開 催 日 時	平成29年8月10日(木) 14時00分から14時38分
開 催 場 所	川口市議会 第3委員会室
出 席 者	菊地委員長 小林委員、佐々木委員、西浦委員、高野委員、杉本委員、榊原委員 芦田委員、嶋野委員、島袋委員 沢田市民生活部長、協働推進課 高山課長 男女共同参画係 永瀬係長、高橋主任
議 題	1 開会 2 議事 (1) 前回の確認事項について (2) 第2次川口市男女共同参画計画改訂(案)について 3 その他 4 閉会
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
会 議 資 料	会議次第 資料No.1 前回の確認事項 資料No.2 第3章 計画の内容 別添資料 第2次川口市男女共同参画計画 冊子 別添資料 埼玉県男女共同参画基本計画(平成29~33年度)
審 議 経 過	別紙のとおり
そ の 他	—

審 議 経 過

1 開会（14時00分）

- ・ 事務局から、出席委員数が委員定数の過半数に達しているため、川口市男女共同参画推進委員会規則第3条第2項の規定により本委員会が成立している旨を報告した。
- ・ 事務局から傍聴希望者がいない旨を報告した。
- ・ 事務局から配布資料について説明した。

2 議事

(1) 前回の確認事項について

○委員長

議事の（1）前回の確認事項について事務局の説明を求める。

○事務局

1 ページ目の資料1 をご覧いただきたい。

前回会議で、委員からご意見をいただいたとおり、基本目標Ⅱの「課題4 家庭生活と職業生活、地域活動との両立支援」の推進指標に「待機児童数」を加えた。この件については、子ども部保育入所課に確認済みである。目標値は県の目標値を参考に設定した。

その下の「市男性職員の育児参加休暇取得率」については、最新の数値が出たため、平成28年度現状値を22%に修正した。なお、指標の下の説明書きは、完成後の計画には記述しないものである。

以上がご審議いただく内容である。

○委員長

ただいまの説明について、意見、質問はあるか。

○委員

2番目の指標「市男性職員の育児参加休暇取得率」についてであるが、育児参加休暇というのはいわゆる育児休業とは違うのか。

○事務局

育児休業とは異なり、妻の出産やその前後に休暇を取得できる制度である。

○委員

勤務先で厚生労働省のくるみん認定取得に携わったが、担当していて難しいと感じたのが男性の育児休業取得であった。育児のために有給休暇を使うということはあるが、男性が女性と同じように育児休業を取るというケースは極めて少ない。そのような経験から、育児休業なのか「育児のための休暇」なのかを確認したかった。

○委員長

ほかに何か意見、質問はあるか。

○委員

待機児童数についてであるが、これまで市町村によって算出基準にバラつきがあったことから、厚生労働省が新定義を定め、平成29年4月からは原則新定義に基づき集計することになっている。推進指標に現状値として掲載されている数値は、旧定義に基づいた数値ではないか。

○事務局

ご指摘のとおり、旧定義での数値である。

○委員

「保護者が育児休暇を取得中の場合は待機児童に含めないことができる」とされているこれまでの定義に基づいて現状値を算出するのは、男女共同参画の視点としていかなものか。育児休業中で就労継続の意思があり、保育所に預けられていない人の数も実態として把握し、新定義に基づいて現状値を算出すべきと思うが。

○事務局

保育入所課には新定義の件も含め確認を行ったうえで、29年4月1日時点の現状値は旧定義に基づき算出するという事になった。年次報告書の作成に際し、毎年度数値を把握していく必要があるため、来年度以降は新定義に基づく数値になる予定である。

○委員長

他に質問、意見はあるか。

(「なし」との声あり)

(2) 第2次川口市男女共同参画計画改訂(案)について

○委員長

続いて、議事の(2)第2次川口市男女共同参画計画改訂(案)について審議に入る。

本日は、前回の配布資料にある改訂スケジュールに基づき、基本目標Ⅱ 課題6から9までについて審議することになっている。

それでは、基本目標Ⅱの課題6について事務局の説明を求める。

○事務局

資料No.2の2ページをご覧ください。

本日の委員会審議事項は、第3章 計画の内容 計画の体系 基本目標Ⅱの課題6から9までである。

説明の中では、前回同様、第2次川口市男女共同参画計画の冊子を「現行計画」、資料No.2を「見直し計画」と呼ぶ。また、現行計画の文章を基に、削除した部分には取り消し線を引き、新しく書き加えた部分には下線を引いている。

計画の体系、内容、各課題の目標である推進指標の順に説明させていただく。

まず、見直し計画4ページ、現行計画の35ページをお開きいただきたい。

基本目標Ⅱの「課題6 男女共同参画の視点に立った防災対策の推進」について、平成28年4月に熊本地震が発生したこと、また、国の方針でも防災対策に関する政策・方針決定の過程への女性の参画が必要とされ、男女共同参画の多様な視点を取り入れた体制整備が求められていることから、文章を加除修正した。

該当箇所を読み上げさせていただく。

…「課題6 男女共同参画の視点に立った防災対策の推進」修正案を事務局が読み上げる。

次に推進指標「女性の防災リーダーの認定者数」について、過去5年より前の認定者も

含めた表記に変え、現状値を総数1,946人、目標値は過去の伸び率を見込んで総数3,061人とした。

「施策の方向（1）男女共同参画の視点に立った地域防災計画の整備」では、「防災力の向上」という文言を加え、文章を加除修正した。

「施策の方向（3）男女共同参画の視点に立った災害時の対応」では、女性特有の問題にも配慮が必要なことから、避難所の運営組織に女性を参加させることを盛り込み、加除修正した。

以上がご審議いただく内容である。

○委員長

ただいまの説明について質問、意見はあるか。

（「なし」との声あり）

○委員長

では、引き続き基本目標Ⅱの課題7について事務局の説明を求める。

○事務局

見直し計画7ページ、現行計画の37ページをご覧いただきたい。

「課題7 女性に対するあらゆる暴力の根絶」であるが、こちらは「DV対策基本計画」として位置づけている。本市では平成28年7月に川口市配偶者暴力相談支援センターを開設したことにより、配偶者からの暴力を防止するとともに、被害者の自立に向けた支援ができるようになった。この点を新たに盛り込み、加除修正した。

…「課題7 女性に対するあらゆる暴力の根絶」修正案を事務局が読み上げる。

見直し計画9ページをご覧いただきたい。加害者と被害者の図は、計画の中に盛り込む必要がないものと判断し、削除した。続いて見直し計画10ページの推進指標について、市民意識調査の結果から現状値を修正した。目標値の変更はない。

「施策の方向（1）女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくり」であるが、配偶者暴力相談支援センターに関する記述を盛り込み、加除修正した。

…「施策の方向（１）女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくり」修正案を事務局が読み上げる。

「施策の方向（２）配偶者等からの暴力防止及び被害者の保護・支援の推進」では、文章を整理し、「施策の方向（３）児童虐待、特に性的虐待に対する対策の推進」では、「発達過程にある児童」という文言を付け加え、「施策の方向（４）セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進」では、「女性の」という文言を削除した。

続いて、見直し計画１３ページのフロー図であるが、１４ページの新たなフロー図を基に整理したいと考えている。以上がご審議いただく内容である。

○委員長

ただいまの説明について質問、意見はあるか。

（「なし」との声あり）

○委員長

では、引き続き、基本目標Ⅱの課題８について事務局の説明を求める。

○事務局

見直し計画２、３ページ、現行計画の１２、１３ページをご覧いただきたい。

「課題８ 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重」について、施策の方向に「（５）女性のスポーツ活動支援」を追加した。

見直し計画１５ページ、現行計画の４３ページをご覧いただきたい。「課題８ 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重」についての文章中、女性に偏り過ぎた表現を一部加除修正した。

…「課題８ 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重」修正案を事務局が読み上げる。

見直し計画１６ページ、「生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利」についての説明は、国の第４次男女共同参画基本計画より抜粋したものを掲載した。

続いて、見直し計画１７ページの推進指標についてであるが、「川口市立医療センター

における女性外来の受診者数」の平成28年度現状値は1人となっている。これは保険適用にならないことから受診料が5,400円かかり、診察、検査等を一切行わず、カウンセリングのみとなるため、予約の段階で主訴を聞き、外来の受診を勧めているためである。平成33年度の目標値は医療センターから変更依頼があり、15人とした。

下段の推進指標「保健センターにおける女性向け健康教室の受講者数」については、平成28年度現状値125人、平成33年度の目標値は変更なしとした。

「施策の方向（2）生涯を通じた女性の健康保持や増進対策の推進」では、働く女性の健康管理について追記した。

見直し計画18ページをご覧いただきたい。新たに追加した「施策の方向（5）女性のスポーツ活動支援」について、これは、国と県が新たに盛り込んだ項目である。前回会議で別添資料2としてお配りした「埼玉県男女共同参画計画（平成29～33年度）」50ページをお開きいただきたい。女性の生涯を見通した健康な体づくりのために、スポーツ参加を促すものである。

…「施策の方向（5）女性のスポーツ活動支援」を事務局が読み上げる。

以上がご審議いただく内容である。

○委員長

ただいまの説明について質問、意見はあるか。

○委員

推進指標「保健センターにおける女性向けの健康教室の受講者数」について、対象者や開催方法はどのようなものか。

○事務局

詳細を把握していないため、担当課に確認して後日ご報告したい。

○委員長

他に意見、質問はあるか。

○委員

推進指標「川口市立医療センターにおける女性外来の受診者数」について、保険診療で受診したほうがよいものについてはそちらを勧めているため、受診者が多くないという説明であったが、それならば指標に掲げる意味はあるのだろうか。医療センターとしてはどう考えているのか。現に受診者が1人しかいないのであれば、窓口のあり方自体を見直す必要もあるのではないか。

○事務局

もともと、市民からの要望により開設した窓口だと聞いている。始めのうちはある程度受診者がいたようだが、保険適用にならないのなら最初から特定の診療科に掛かったほうがよいと考える人が多く、医療センターでも問合せの時点でその旨を説明しているとのことである。現時点で、問合せは1日に1件程度とのことだが、それでも窓口を止める予定はなく、新たな目標値が提示されたものである。

今回の審議により、推進指標として掲載しないとすることも可能であるとする。

○委員

どこの診療科に掛かったらよいか分からない人の最初の窓口として女性外来が設置されているのだと考えれば、本来は多くの人に喜ばれるものなのではないかと思う。事実、同窓口は一度なくなったものの、数年後に再開されたという記憶もある。しかし、この現状値と目標値を見ると、指標として掲載する意味がないように感じてしまう。より多くの人に利用していただき、効果を生んでいけるようなものであればいいのだが。

○委員

保険診療に該当しないのであれば、「女性外来」ではなく「女性の相談室」とするなどし、そこにどれだけ相談が寄せられたかをカウントするなど、制度自体を再検討する必要があるのではないか。

また、保健センターの推進指標にしても、現状値125人に対して目標値を130人とすることに意味はあるのか。推進指標は施策の効果を計れるものでなければならず、

その点でもっとふさわしい指標があるのではないかと。

○事務局

委員のおっしゃるとおりであり、後期計画としても前期の数値との隔たりが大きいため、医療センター及び保健センターに再度確認し、検討させていただく。

○委員長

他に質問、意見はあるか。

(「なし」との声あり)

○委員長

では、引き続き、基本目標Ⅱの課題9について事務局の説明を求める。

○事務局

見直し計画19ページ「課題9 国際化に対応した男女共同参画の推進」について、推進指標「『女子差別撤廃条約』という用語の周知度」の現状値を修正した。

以上がご審議いただく内容である。

○委員長

ただいまの説明について質問、意見はあるか。

(「なし」との声あり)

○委員長

皆様には活発なご審議をいただき感謝する。

事務局は、委員からの意見を取り入れ、修正案に反映させ、次回の委員会でお示しいただきたい。

3 その他

○委員長

3 その他について、事務局から説明を求める。

○事務局

資料はないが、平成27年11月に開催した男女共同参画推進委員会で、女性活躍推進

法に基づく市町村計画について審議した際、「市内の常時雇用する労働者が300人以下の事業者に対し、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定を促すため、策定の手引き、ガイドラインを作成する」という審議がされたことから、本市におけるガイドラインの作成について検討していた。その後、国・県がそれぞれ手引き、ハンドブックを作成し、その中で行動計画策定の流れや各種制度についての情報が網羅されていることが分かったため、本市では、国・県作成の手引き等と内容の重複しない形で川口市独自の先進事例・相談窓口等を掲載した推進リーフレットを作成し、市内企業に配布することで一般事業主行動計画の策定を促すとともにワーク・ライフ・バランスの実現を目指そうということになった。

また、先日、同リーフレットに掲載する記事とするため、株式会社コマームの小松社長、川口信用金庫人材開発課の伊藤課長にお越しいただき、各事業所の取り組みや、女性活躍の現状・課題について市長と対談していただいた。リーフレットが出来上がり次第、委員の皆様にもお配りさせていただく。

なお、同リーフレットは10月に開催する川口市参品フェア2017において出展企業に配布する予定である。

○委員長

ただいまの説明について質問、意見はあるか。

○委員

リーフレットは従業員300人以下の企業に配布し、一般事業主行動計画の策定を働きかけていくということでよいか。

また、埼玉県で行っているウーマノミクスプロジェクトとはまた違う取組みなのか。

○事務局

埼玉県のハンドブックにもウーマノミクスプロジェクトについて掲載されているとおり、女性の活躍を推進していくという点では同じ方向のものである。市のリーフレットについては県と内容が被らないよう、オリジナルなものを作りたいと考えている。

○委員長

他に意見、質問はあるか。

(「なし」との声あり)

○委員長

なしとのことなので、これで議長の任を降り、進行を事務局に戻す。

○事務局

これをもって、第2回委員会を終了する。

(4) 閉会 (14時38分)

会議の内容については、以上のとおりです。

平成29年 月 日

川口市男女共同参画推進委員会委員長

(菊地委員長署名)

川口市男女共同参画推進委員会委員

(高野委員署名)